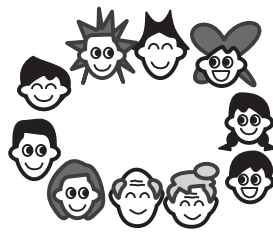


# 津谷歯科医院 口腔ケア新聞

NPO法人  
訪問歯科診療  
を広める会  
賛助会員



令和2年9月号  
発行人 津谷歯科医院  
院長 津谷良  
住所 岡山市中区海吉1807-14  
紙面に関するお問い合わせは下記まで  
電話：0120-779-418  
配信代行 訪問歯科診療を広める会

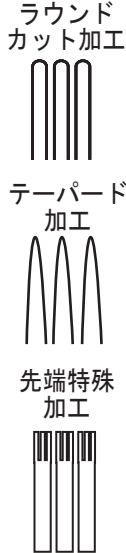
皆さん、こんにちは！いかがお過ごしですか？

津谷歯科医院、院長の津谷良です。

毎日使う物と聞かれ、思い浮かぶ物の一つに歯ブラシがあります。日本では長い間、木の枝の一端をつぶして繊維状に柔らかくした歯木(しばく)が使われていて、当時はこれを楊枝と呼んでいました。現在の形のような歯ブラシは、江戸時代の末期に西洋文化とともに入ってきて、明治中頃に「歯刷子(はぶらし)」という名称で博覧会に出品されたのが最初です。一般向けには大正3年に豚毛を用いた歯ブラシがライオン(株)から販売されたのが初めてで、しばらくは動物の毛が用いられていました。その後化学産業の発展を機に弾力性に優れ、乾きやすく衛生的なナイロンやPBT(ポリエステル的一种)が昭和26年頃から使われるようになりました。今月は「歯ブラシの毛先」についてお届けします。

## ■ 進化を続ける歯ブラシの毛先

歯磨きの目的は、むし歯と歯周病の原因となる歯垢を除去することで、お口の状態に合わせて毛先の形状は色々工夫されてきました。当初、歯ブラシの毛先は裁断して角張った形のままで、チクチク歯ぐき痛い等、決して快適な使い心地ではありませんでした。そこで毛先をグラインダー(やすり)で削って丸くしたラウンドカット加工が誕生しました。このラウンドカットは、歯肉や歯面を傷つけにくい形状で、現在通常毛として歯ブラシのスタンダードとなっています。しかしラウンドカットでは歯と歯ぐきの境目部分に毛先が届かず、清掃性が不十分である場合もあるため、毛先を細くして歯ぐきの溝まで届くテーパー加工という形状の商品が開発されました。また高齢化の影響もあり、歯ぐきの腫れ・出血のある方や歯の根元が露出して知覚過敏が気になる方にも使いやすい工夫として、1本の毛先をさらに数本の細い毛に分けた先端特殊加工

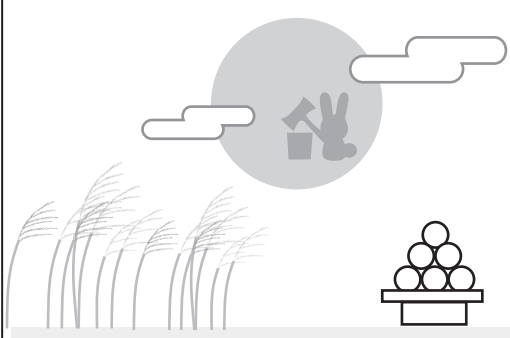


加工が登場しました。飲食で歯がしみたり歯ぐきがチクチク痛いと感じる方でもやさしく汚れをしっかりと除去できる形状になっています。また歯垢の除去効率を上げるため、1本1本の毛をねじって側面に凹凸を付けることで歯垢を絡め取る工夫が施されている毛先もあります。

## ■ 歯ブラシの交換目安は・・・

新しい歯ブラシの歯垢除去率を100%とすると毛先が少し開いたものでは80.8%、完全に開いたものでは62.9%という報告があります。(ライオン歯科衛生研究所)しかし歯磨きの上手な人が新しい歯ブラシを使った場合でも10%の汚れは磨き残していますので、2~3週間毎に交換することをおすすめします。

◎ 歯科医院・訪問歯科診療の感染防止対策 ◎  
歯科医院では、処置の際に唾液や血液の接触する機会が多いことから、患者様すべてが感染している前提で盤石な感染予防態勢を実施しています。また平成30年10月に厚労省は医療行為を行う上で感染防止のための厳しい基準を設けました。当院は、この基準を満たした医療機関です。どうぞ安心して受診してください。



当院は、感染防止対策を徹底していますので安心して受診してください。

## ◆ 歯ブラシは歯垢の除去率等に影響しますのでお口に合ったものを選びましょう ◆

口腔ケア新聞の発行にあたって ここ数年、外来患者さんやそのご家族から訪問診療のお問い合わせやご依頼を受けるケースがとて増えてきました。小さなご病気されてしまったことがキッカケで、寝たきりになってしまわれたりして、「いつもお元気でいいですね」って話をしていたのに・・・そんなことが続いたので、これは本格的に訪問診療に取り組まなければいけないかなって、強く思うようになりました。

そこで取り組みの一環として、要介護者の歯と口に関する情報を地域の介護に携わっている方にお届けしようと考え、口腔ケア新聞を毎月1回発行しています。

## 津谷歯科医院

診療時間 9:00~12:30/14:00~18:30  
(土曜日は16:30まで)  
診療科目 歯科 小児歯科  
休診日 木曜・日曜・祝祭日  
院長 津谷良  
岡山市中区海吉1807-14  
☎ 0120-779-418 FAX 0120-779-413